

県議団が一関市の介護施設・千厩病院等を調査

2月13日、県議団として一関市にある介護施設や県立千厩病院等を訪問し、実態や課題について調査しました。

特養ホームやデイサービスなど12種類もの介護サービスメニューを実施している社会福祉法人福光会では、二階堂常務理事から人材確保で苦労していることや、法人だけで300人もの待機者がいることが紹介され、これらを解消するためにも従来型の特養ホームが求められていると強調されました。



福光園で懇談する県議団と一関市議団

ジョブカフェ一関では今野センター長と懇談し、今野センター長は「製造業の就業者が減少するなど、産業構造の変化への対応が求められる。県内企業での人材確保では長時間労働の改善など働きやすい職場にすることが必要」と指摘しました。

県立千厩病院では下沖院長らと懇談。下沖院長は医師不足の打開について、極端な医師の偏在化の是正を指摘し、県立病院としての基幹病院と地域病院での医師の交流について提言されました。

子どもの医療費助成 いっそうの拡充を！

2月6日、「子どもの医療費助成制度拡充を求める岩手の会」による県への要望活動があり、3名の県議団も同席しました。会からは、小野寺けい子共同代表など十数名が参加し、県民の切実な声を紹介しました。

要望にあたり子育て中の県民から取ったアンケート結果も示しながら、さらなる充実が必要だと訴えました。

応対した佐々木保健福祉部長

野党と市民の共同发展を！

知事、3野党代表が連帯あいさつ



「団結がんばろう！」を唱和する（左から）小西、畑、菅原、達増、佐々木、ふなやまの各氏

2月12日、日本共産党岩手県委員会の歴史始まって以来の素晴らしい県党会議が開催されました。

達増岩手県知事、民進党の畑浩治県連参与、自由党県連幹事長の佐々木順一県議、社民党県連代表の小西和子県議に来賓として出席いただき、心強い祝辞をいただきました。（ふなやまさんは党中央代表して。）

あいさつの後、知事など来賓を囲んで、参加者全員で団結ガンバロー！を三唱。画期的な党会議となりました。マスコミ各社も注目し、多数取材に来てくれました。



佐々木保健福祉部長などに要望する「岩手の会」の皆さんと県議団